Technical News

2021 年8月 19 日

A-2021047

重要なお知らせ；ソフトウェアに起因する現象のご連絡

SW1A 形 Automation Organizer
FC6A 形 MICROSmart

Automation Organizer に収録の FC6A 形 MICROSmart において、以下の現象を確認いたしました。対象製品をご使用のお客様は以下に記載している内容をご確認の上、ご対策くださいますようお願いいたします。

現象

【対象製品】

□ FC6A 形 All-in-One CPU モジュール　Ver.2.31

□ FC6A 形 CAN J1939 All-in-One CPU モジュール　Ver.2.31

（Automation Organizer Ver.3.23.0/ WindLDR Ver.8.19.0）

製品形番：SW1A-W1C

※弊社ホームページからダウンロードしたソフトウェアも含まれます。

上記バージョンのソフトウェアを使用している場合、以下の機種で現象が発生します。

機種	形番
FC6A 形 All-in-One CPU モジュール	FC6A-C16***E FC6A-C24***E FC6A-C40***E
FC6A 形 CAN J1939 All-in-One CPU モジュール	FC6A-C40***EJ

※FC6A Plus タイプの CPU をお使いの方は、対象ではありません。

【現象】

システムソフトウェア Ver.2.31 を使用すると、Ethernet ポートのメンテナンス通信サーバー機能が正常動作しない場合があります。

このとき、WindLDR によるモニタ、ダウンロード、アップロード、およびプログラマブル表示器との通信など、Ethernet によるメンテナンス通信がおこなえません。

なお、同 Ethernet ポートによる ModbusTCP、ユーザー通信は問題無く動作します。

本現象は、ダウンロード直後、もしくは電源投入時に発生する可能性があります。通信が正常動作しているとき、途中で接続できなくなることはありません。

【暫定的な回避方法】

下記のシステムソフトウェアをご利用ください。

□ FC6A 形 All-in-One CPU モジュール　　Ver.2.30

□ FC6A 形 CAN J1939 All-in-One CPU モジュール　　Ver.2.30

（Automation Organizer Ver.3.22.0/ WindLDR Ver8.18.0）

すでに、本現象が発生している場合は、USB 経由または SD カードを使用して上記システムソフトウェアへの変更をお願いいたします。

【恒久対策】

Automation Organizer Ver.3.23.1 に同梱される以下バージョンのソフトウェアで対応する予定です。

□ FC6A 形 All-in-One CPU モジュール システムソフトウェア Ver.2.32

□ FC6A 形 CAN J1939 All-in-One CPU モジュール システムソフトウェア Ver.2.32

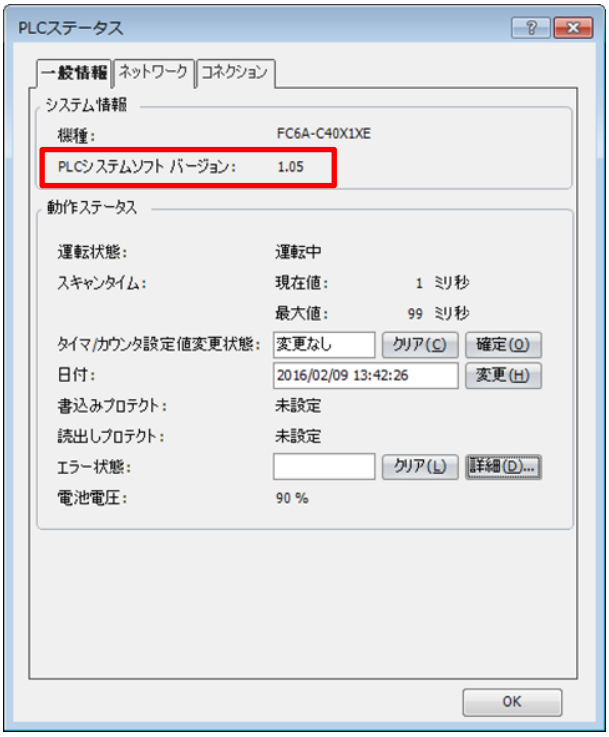
対策版のソフトウェアは、2021 年 8 月末をめどに、弊社ホームページで公開する予定です。

公開後、弊社ホームページより上記のバージョンまたはそれ以降のバージョンの インストーラ【システム統合ソフトウェア Automation Organizer アップデート版】をダウンロードし、インストールしてソフトウェアをアップグレードしてください。

https://jp.idec.com/idec-jp/ja/JPY/RD/software/automation-organizer

システムソフトウェアのバージョン確認手順

お手元の FC6A 形 CPU モジュールのシステムソフトウェアのバージョンは、WindLDR の PLC ステータス画面でご確認いただけます。



図： PLC ステータス画面